

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	町主催の職員研修については、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、集合型での実施や遠方からの講師派遣が困難となり、当初予定していた研修を変更し、映像による研修を実施しました。 自主研修については、令和3年度は2名の職員（公認心理師の資格取得受験費用）に対する助成を行い、また社会福祉士資格取得のための講座受講に対する支援の申請がありました。 宿泊を伴う研修については、1名が参加（費用は北葛城郡町村会）しました。			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 自主研修及び宿泊を伴う研修については、通常の業務量が増加している影響もあって、数日にわたり職場を離れることや、新たに資格取得するなどの時間的余裕のない状況にあると考えます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 定時退庁日での定時退庁の徹底、通常業務の効率化の推奨やタイムマネジメントの意識づけ、休暇取得の促進等、職員の時間的余裕が必要であると考えています。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 人事担当課では、引き続き定時退庁日における定時退庁を促します。また、通常業務の効率化や職員間における業務量の偏り等を改善することで、時間外の縮減、プライベートな時間の確保を図っていきたいと考えております。				
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除	
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心			
		基本施策	① 行政運営			
施策の展開方向		② 人材育成の充実				
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）		令和4年度の職員研修（町主催）では、私債権の研修を行い、より専門的な知識習得を目的としています。その他、中堅職員による新規採用職員への内部研修等を実施し、説明する側、説明される側、双方の育成を図りたいと考えます。				
指標（予定）	KPI	職員研修の開催数（年間）			4種	
	—					
	—					
	—					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>毎月の部長会をはじめ、各課題に対する担当課主催（内訳下記のとおり）の会議を開催し、課題解決に向けた協議、検討を行いました。また、総合計画・総合戦略の内部検証委員会については、取組内容についてPDCAサイクルを活用した検証を行うことで、改善を図りながら効率的・効果的に取組を進めることができたと考えます。</p> <p>【主な担当課主催会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等マネジメント検討会議（総務課）3回 ・集会施設調整会議（総務課）2回 ・部課長会議（総務課）12回 ・課長会（総務課）【新設】3回 ・予算編成説明会（企画財政課）1回 ・上牧町総合計画・総合戦略内部検証委員会（企画財政課）2回 ・新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金関係会議（企画財政課）2回 ・上牧町新型コロナウイルス感染症対策本部（総務課）17回 ・町制50周年記念事業調整会議（企画財政課）1回 			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
二一ズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>行政における事務やサービスが高度化・複雑化してきており、それらに対応するため、関係各課と連携した横断的な検討・協議が必要と考えます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>現在取り組んでいる分野以外においても、さらなる行政サービスの向上に向けて、部局間連携によって改善できる余地はあると思いますが、会議等に参加する職員の時間的な拘束や日程調整する事務等を考慮すると、実施方法や環境整備等について、効率化を図っていく必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 「新型コロナウイルス感染症対応として、外部との会議についてはオンライン化できましたが、内部でもデジタルツールを活用することで、業務効率の改善につながるよう、調査・研究を行います。」			
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心一町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくり		
		基本施策	① 行政運営		
施策の展開方向		① 部局間連携の推進			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	令和3年度に引き続き、部長会や担当課主催での会議で横断的な組織を編成し、各種内容を検討していきます。				
	指標（予定）	KPI	部局横断的な各種会議の開催数（年間）	10種	
		-			
		-			
		-			

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>総合計画の実施計画である中長期財政計画の見直しを実施しました。また、予算決算の情報についても、議会開会日には、窓口への資料備え付け、ホームページ掲載等、住民の方にも広く知っていただけるよう取組を進めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画の実施計画としての中長期財政計画の更新については、各課照会のみ実施しました。（R3.6～7） ・新地方公会計制度による財務書類の作成を3月までに行い、住民向け資料の作成を行いました。（R4.3） ・町の財政状況について、予算編成の際に、県の報道資料により各課へ説明を行いました。（R3.10） ・財政情報のホームページ掲載への掲載3回（当初予算概要・決算成果・財務書類の概要） ・財政状況の公表（6月、3月） ・補正予算の情報を広報へ掲載（年4回） 			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>近年、人口減少対策、社会保障経費、公共施設の修繕等、様々な課題があり、大変厳しい財政状況ですが、今後も住民ニーズとして効果的・効率的な行政運営が求められることが予想されます。そこで、職員一人ひとりの予算に対する理解を深め、予算執行及び予算編成時における職員の意識改革が求められます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>総合計画の実施計画である中長期財政計画の必要性を職員一人ひとりが認識し、より精緻な財政計画を策定するためには、課ごとの詳細な計画の策定が必要不可欠であり、説明会等を実施し、計画的な事業執行の意識づけを進める必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 中長期財政計画の策定にあたっては、照会、取りまとめ、計画作成から公表時期までの期間が長く、実際の予算の動向との乖離が大きいので、できる限り短時間で作成できるよう、様式の工夫や照会スケジュールの見直しが必要であると考えます。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心一町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくりー		
		基本施策	① 行政運営		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	③ 計画的な財政運営			
	指標（予定）	KPI	予算編成説明会の開催（年間）		1回
		KPI	財政情報の公表		4回
		—			
		—			
—					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった					
	●事業の分析（評価の根拠・理由）								
	<p>昨年度に引き続き、財産の見つかる可能性の高い預金と給与について重点的に調査を行いました。【給与：74件、預金：206件】 財産調査後に、差押等の滞納処分を行いました。【給与：4件、預金：67件】 差押件数に含まれてはませんが、事前に差押予告通知を送付することにより完納につながったケース等もありました。 令和2年度に引き続き町内117件、町外39件の現地調査を実施しました。</p>								
	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。								
達成度	【主要な債権の照会・差押】			(単位：円)					
		R2		R3		前年度との比較			
		照会件数	差押件数	換価金額	照会件数	差押件数	換価金額	差押件数	換価金額
	給与	50件	6件	1,936,950	74件	4件	1,410,120	-2件	-526,830
預金	346件	96件	6,394,353	206件	67件	3,695,402	-29件	-2,698,951	
年金	25件	9件	2,004,750	12件	2件	1,496,950	-7件	-507,800	
不動産の差押（令和2年度9件、令和3年度2件）や生命保険（令和2年度12件、令和3年度66件）、その他携帯電話等（令和2年度116件、令和3年度59件）の調査等も行っていきます。									
達成度	【主要な税の徴収率】			(単位：円)					
		R2		R3		前年度との比較			
		調定額	徴収額	徴収率	調定額	徴収額	徴収率	前年度との比較	
	町民税	現年	1,028,340,819	1,021,145,141	99.30%	1,002,843,909	997,797,508	99.50%	+0.20%
	滞納	28,116,892	9,577,921	34.06%	21,959,722	7,449,406	33.92%	-0.14%	
固定資産税	現年	851,032,400	815,097,947	95.78%	813,935,000	782,267,600	96.11%	+0.33%	
	滞納	191,605,843	12,410,441	6.48%	197,633,855	7,712,112	3.90%	-2.57%	
軽自動車税	現年	51,447,800	50,857,500	98.85%	53,060,600	52,575,800	99.09%	+0.23%	
	滞納	2,618,420	995,958	38.04%	1,929,162	587,742	30.47%	-7.57%	
国民健康保険税	現年	438,356,100	420,618,850	95.95%	445,652,000	428,613,050	96.18%	+0.22%	
	滞納	72,882,525	25,304,333	34.72%	41,580,261	19,373,604	46.59%	+11.87%	
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある					
	評価の根拠及び理由 税の公平性を保つため、滞納者に対して差押等の処分が必要ですが、滞納になる前の滞納初期に納税相談等を行い、滞納している税を少しでも納付しやすくするよう案内を行っています。【例：分割納付の相談、所得未申告のため国民健康保険税の軽減を受けられていない方への案内、社会保険加入者に対しての国民健康保険資格喪失の手続き等】 しかしながら、財政の健全化を目指すにあたり、滞納処分による税金の滞納を減らすことは重要な要素の一つになりますので、今後においても引き続き財産調査や差押などの滞納処分に関する業務に力を注ぐ必要があると考えます。								
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない					
	評価の根拠及び理由 財産調査において判明しないものであっても、所有財産があると思われるケースについては、その他の調査方法等による精査が必要となります。このため、奈良県とも連携し新たな財産調査等のノウハウを習得する必要があると考えます。								

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 新たな財産調査や滞納処分を実施するにあたり、自動車の差押や換価の向上及び技術継承を目的とした奈良県との不動産合同公売も視野に入れて、事業を進めていくように取組を行います。				
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除	
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心一町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくり			
		基本施策	① 行政運営			
施策の展開方向		③ 計画的な財政運営				
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	財産調査や差押等の強化を引き続き行い、徴収率の向上、財政の健全化を目指します。国や県と情報共有をし、納税者の利便性向上に向けた取組の検討を行います。					
	指標（予定）	KPI	町税徴収率			91%
		—				
		—				
		—				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった															
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																		
	<p>「すむ・奈良・ほっかつ！事業」については、独自の指標である「プロモーション活動の認知度」の実績値が38.2%で、目標値の51.0%を大幅に下回ったことから、目標とする成果は得られなかったと考えます。移住促進の取組が令和2年度で縮小となったことで対外的なプロモーション活動がなくなり、既存作成物を活用したプロモーション活動のみとなったことが認知度低下の要因であると考えます。一方で、県主催のオンラインセミナー「奈良で働く相談会」へ北葛城郡として参加し、移住を考える方を対象に各町の紹介を行いました。その後、セミナー参加者より県を通して空き家物件についての質問があったため、一定の反響は見られたと考えます。</p> <p>【広域連携事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほっかつ” 歩っ活” ウォーキングマップ ・ほっかつプレミアム商品券 ・基幹システム共同化 ・西和7町障害等支援協議会 ・病児保育園「ぞうさんのおうち」・すむ・奈良・ほっかつ！事業 ・山辺・県北西部広域環境衛生組合 ・西和6町法人後見事業 ・公共施設に関する中和・西和広域連携検討会 ・西和地域病児保育室「いちごルーム」 ・香芝市・葛城市・北葛城郡コロナ検査センター共同運営事業 																		
二一ズの方向性	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																		
	<table border="1"> <caption>事業の分析（データ）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>				年度	数値	H27	5	H28	7	H29	7	H30	8	R01	10	R02	10	R03
年度	数値																		
H27	5																		
H28	7																		
H29	7																		
H30	8																		
R01	10																		
R02	10																		
R03	11																		
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある															
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>効率的な行政運営や人口減少については、全国自治体の課題とするところであり、市町村の枠を越えた共同事業等、広域連携を求め二一ズは今後も増えてくると考えます。</p>																		
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない															
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>「すむ・奈良・ほっかつ！事業」については、広域観光について新たな取組もしくは、現時点において町単独で実施している事業の広域展開を進めていく必要があります。</p> <p>また、広域連携を推進し、施設等の利便性の向上や行政運営の効率化を図るために、様々な分野において、広域連携の実現可能性について検討していく必要があると考えますが、連携する市町村において方針や利害が一致することが前提となるため、実現には時間を要すると考えます。</p>																		

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） <p>「すむ・奈良・ほっかつ！事業」については、「すむ・奈良・ほっかつ！推進協議会」の中で、4町共同での新たな取組もしくは、現時点において町単独で実施している事業の広域展開を進めていく必要があります。</p> <p>また、取り組んでいる広域連携事業に関しては、事業実施における改善や必要性等について見直しを行うとともに、現時点において町単独で実施している事業や実施を検討している新規事業についても、広域連携の実現可能性について検討していきたいと考えます。</p>			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心一町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくり		
		基本施策	② 広域行政		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向		① 広域連携の推進		
	指標（予定）	KPI	広域連携新規事業数（累計）	1事業	
		独自	プロモーション活動の認知度	50%	
-					
-					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由） 広陵町と連携し、特定非営利活動法人 空き家コンシェルジュと共同で「空き家セミナー・相談会」の開催し、1件のバンクへの登録相談を受けており、現在所有者が登録を検討中です。 (R4. 3. 31時点) ・空き家バンク利活用物件数 1件 ・空き家バンク登録物件数 2件 ・町内空き家件数 64件 <町内空き家の利活用戸数> (1件/64件) × 100 = 2% (1.56%を四捨五入)			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 少子高齢化の進展に伴い、今後も空き家件数は増加していくことが見込まれるため、空き家に関する問題についても増加すると考えられます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 空き家実態調査において空き家・空き地バンクを知らない所有者が全体の60%にも上り、周知を徹底していく必要があります。空き家・空き地バンク情報等を広報に掲載し、ホームページ情報も拡充していく必要があります。他自治体の空き家対策情報を共有し、共同で実施できる施策を検討していく必要があります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 他自治体の空き家対策を調査し、上牧町の空き家対策への参考や連携を検討します。			
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策			
		基本施策			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向				
	指標（予定）	—			
		—			
		—			
		—			
		—			

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった															
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																		
	<p>○西和7町障害者等支援協議会 オンラインによる定例会を4回行い、主に障がい福祉計画の成果目標に係る進捗状況の報告や各専門部会の取組内容について協議を行いました。また、全体会は岡山県立大学から周防美智子 准教授を招き「発達障害の理解とソーシャルインクルージョン」をテーマとした記念講演及び協議会の活動報告をオンラインで開催しました。（参加人数 37名）</p> <p>○専門部会 (くらし部会) 定例会議（3回）の中で、退院患者の居住支援や地域移行に関する医療機関及びグループホーム事業者との意見交換会を企画していましたが、コロナの影響により中止となりました。次年度開催に向けて協議を継続しています。</p> <p>(人権施策部会) 定例会議（3回）の中で障がい児者の権利擁護に関する講演会開催を企画していましたが、コロナの影響により中止となりました。合理的配慮に関する事例集作成に向けて西和7町内の関係機関にアンケート調査を行いました。現在取りまとめ作業を行っており、次年度に完成・関係機関への配布を予定しています。</p> <p>(就労部会) 定例会議（1回）の中で障がい者の就労支援施策や、地域の事業所の抱える課題について協議しました。より詳細に課題の洗い出しを行うため次年度に各事業所にアンケート調査を行います。</p> <p>○行政事務担当者会議及びワーキング会議 障がい福祉計画の成果目標に掲げる施策について4回会議（内3回はオンラインによる）を開催し、事業実施に向けた協議を継続しました。</p> <p>(地域生活支援拠点等の整備) 障がい者の親亡き後を見据えた地域の体制づくりを目指す「地域生活支援拠点等の整備」について、緊急受入体制事業及び一人暮らし体験事業の共同実施に向け、受託希望の法人と定期的な打ち合わせを行い、国の施設整備型補助金を活用していただくために奈良県との協議も継続しながら、候補地となる施設の改修に係る設計案の作成を進めました。</p> <p>(児童発達支援センターの設置・重症心身障がい児支援事業の確保・医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置) 地域における中核的な療育支援センターとなる「児童発達支援センター」の設置に向けて、受託希望の医療法人との意見交換や7町内の候補地に関する協議を行うため7町課長会議を開催しました。センターの機能に重症心身障がい児支援事業、医療的ケア児支援のための協議の場を付加することを見据え、令和5年度末までの整備に向け引き続き協議を行います。</p> <p>(精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの構築) 精神障がい者の地域生活を支援する体制整備である「精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム」の構築について、令和2年度に設置した郡山中和保健所や障がいサービス事業者等が参画する精神ケアシステム会議を開催し、地域アセスメントの手法についての協議を行った上で、精神障がい者支援策について各町の障がい・高齢・教育部局や社会福祉協議会等にアンケートを実施し、現状の取組を整理しました。今後も定期的に会議を開催し入退院を繰り返す障がい者への支援策や円滑な退院調整を図るためのスキームを検討していきます。</p> <p>○老人福祉施設三室園組合 単独町では運営が困難な三室園養護老人ホームについて、西和7町共同で運営を行いました。（上牧町の措置者は1名）</p> <p>○成年後見制度法人後見支援事業 高齢者や障がい者の成年後見制度利用促進を図るセンターを設置し、申立て支援事業、啓発促進事業等を実施し、成年後見制度利用に係る相談支援を行いました。センターによる上牧町の法人後見の総受任件数は5件（高齢者1件 障がい者3件 重複者1件）、新規相談件数は3名（高齢者2名 障がい者1名）となっています。</p>																		
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																			
【「西和7町障害者等支援協議会全体会」及び「人権施策部会講演会」の参加人数】																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西和7町障害者等支援協議会全体会（人）</td> <td>163</td> <td>116</td> <td>中止 ※代替事業実施</td> <td>37 ※オンライン開催</td> </tr> <tr> <td>人権施策部会講演会（人）</td> <td>20</td> <td>40</td> <td>中止</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table>						H30	R01	R02	R03	西和7町障害者等支援協議会全体会（人）	163	116	中止 ※代替事業実施	37 ※オンライン開催	人権施策部会講演会（人）	20	40	中止	中止
	H30	R01	R02	R03															
西和7町障害者等支援協議会全体会（人）	163	116	中止 ※代替事業実施	37 ※オンライン開催															
人権施策部会講演会（人）	20	40	中止	中止															
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある															
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>障がい児から高齢障がい者への支援、障がいの重度化や親亡き後を見据えた地域生活への支援施策等、当事者やその家族からの要望は障がい児者の増加とともに、ますます多様化していくことが予想され、課題解決には、あらゆる世代に対応した多職種の専門機関や近隣自治体とのネットワークを強化し、スケールメリットを生かした広域連携の推進が求められていると考えます。</p>																		
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない															
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>広域連携の事業実施には、広範囲にわたる関係機関との綿密な事前協議が必要ですが、参加人数が多くなる会議においては、オンラインによる実施では活発に議論することが困難な状況がありました。</p>																		

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）	
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 新型コロナウイルス感染症拡大を注視し、内容によっては十分な対策を講じた上で対面での会議の開催を検討します。					
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input type="checkbox"/> 統合	<input checked="" type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策					
		基本施策					
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向						
	指標（予定）	-	-	-	-	-	

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>休日応急診療（日曜日や祝日等、病院等が休診の際の緊急的に診療を行うもの。診療科は医科及び歯科。）の実施と介護保険に係る介護認定審査会運営の共同実施を行う王寺周辺広域休日応急診療施設組合を設置し、西和7町共同での運営を行っています。令和3年度において休日応急診療所の診察件数（医科・歯科）は7町全体で1,868件、うち上牧町171件でした。</p> <p>また、介護認定審査会の審査件数は、7町全体で5,002件、うち上牧町721件でした。</p> <p>診療件数については、新型コロナウイルス感染症の影響により診療件数は減少しました。審査件数については、制度改正により介護認定有効期間が延長されたことにより更新申請者が減少しました。それに伴い、年間の審査件数は減少しました。西和7町共同で運営を行うことで、遅滞もなく事務を効果的かつ効率的に進めることができています。</p> <p>広域7町介護保険担当者会議は、令和3年度は6回開催し、法改正に対応するために王寺周辺広域休日応急診療施設組合も含め協議を行うことにより、円滑に事務を進めることができました。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>今後、ますます高齢化が進む社会環境において、審査件数は増加していくことが予想されます。また、社会環境の変化や法令等の改正等、事務事業においても解決すべき課題が増えることが予想されます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>7町共同での運営を行うことで、事務の効率化が図れています。また、事務量の増加にも対応できていますが、今後の法令改正等によっては、既存システムの改修等、別途対応すべき事案が出てくることが予想されます。これらの事案に対して随時対応していく必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 法令改正等があった場合には随時、広域7町介護保険担当者会議において協議を行うほか、王寺周辺広域休日応急診療施設組合と協議等を行っていくことにより、効率的な運営に努めます。			
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策			
		基本施策			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向				
	指標（予定）	—			
		—			
		—			
		—			
		—			

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	自治連合会に対しての助成金の交付等の支援に加え、広報かんまきやSNS等での情報発信により、住民の方の地域活動への機会の創出ができました。また、本年度は、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成金の交付決定を受け、自治会活動における町民の地域活動支援としてコミュニティの場を創出することを目的に備品を購入しました。 滝川台周辺の新住宅の開発業者から自治会設立について相談があり、設立の手引きや自治会会則例等を示して説明を行いました。			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 少子高齢化や生産年齢世代における共働き等、担い手不足や住民自治の維持が困難になっていく中で、特定の人だけではなく全体で地域を支えていくために、住民が地域活動しやすい環境整備や支援の充実に努めることが求められているため、ニーズは増加すると考えます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 当面は現状のまま取り組んでいきますが、地域活動を継続的に維持できるように、社会情勢に適した新たなニーズの把握や次世代の担い手となる人材の掘り起こし等が必要であると考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 町民参画による協働のまちづくりを推進していくため、町民ニーズに沿って今後も地域活動の支援を継続するとともに、各種団体の設立に向けた支援についてスムーズに対応できるような体制の構築に努めたいと考えます。 また、地域活動を継続的に維持できるよう、社会情勢に適した新たなニーズの把握や次世代の担い手となる人材の掘り起こし等、必要な方策について検討します。			
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心—町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくり—		
		基本施策	③ 町民参画・協働・地域コミュニティ		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	① 地域活動への参加機会の創出			
	指標（予定）	KPI	地域活動への参加をしている割合		—
		—			
—					
—					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>各種審議会等において、委員の公募を行った結果、合計15名の方に委員として参加していただくことができました。また、各種計画等に対するパブリックコメントについては、合計18件の意見がありました。</p> <p>パブリックコメントの運用については、原則1ヶ月間の期間を設けて実施することと規定されていますが、各課への周知・啓発ができていないこともあり、実施期間にはバラつきが生じています。</p> <p>【審議会等への委員の公募】</p> <p>○上牧町総合計画等審議会（企画財政課／9名） ○上牧町総合計画等外部検証委員会（企画財政課／1名） ○上牧町地域包括支援センター運営委員会（生き活き対策課／4名） ○上牧町町営住宅等運営基本方針策定委員会（まちづくり推進課／1名）</p> <p>【パブリックコメントの実施】</p> <p>○上牧町第2次健康増進計画・食育推進計画（改訂）（生き活き対策課／0件）12/1～12/21 ○上牧町第5次総合計画（後期基本計画）（企画財政課／0件）1/4～2/2 ○上牧町学校適正化基本計画（教育総務課／17件）1/7～2/3 ○上牧町公共施設等総合管理計画（改訂）（総務課／0件）2/10～2/24 ○上牧町空き家等対策計画（改訂）（まちづくり推進課／1件）3/7～3/21</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
二ーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>町民参画による協働のまちづくりを推進し、より一層民意が反映された町政の実現を目指す上で、町として町民参画機会の拡充に努めていますが、まちづくりに対する実績や町民の評価に伴い、更なる参画機会の確保の検討が求められると考えます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>町民の意見を町政に反映する場や機会を充実させるための取組として、パブリックコメントの運用に関して周知・啓発を行うとともに、実施方法等について改善を図っていく必要があると考えます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）	
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>パブリックコメントについては、運用に関して周知・啓発を行うとともに、要綱を制定した当該において基本的な方針を示していくことで、町民の方が参加しやすい実施方法の定着を図ります。また、町民参画機会を拡充していくためには、既存制度の運用の改善に加え、新たな町民参画手法についても検討していく必要があると考えます。</p>					
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心一町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくりー				
		基本施策	③ 町民参画・協働・地域コミュニティ				
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	② 町民のまちづくり参加機会の拡充					
	指標（予定）	KPI	新規地域活動団体年間設立数（累計）			4団体	
		—					
—							

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	自治連合会の総会等の場に出向いて登録・利活用に関する呼びかけを直接行うことができなかったこともあり、KPIについては「人材バンク登録者数」及び「人材バンク年間活用件数」が目標値を下回ったため、目標とする成果は得られなかったと考えます。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
	高齢化の進行に伴い、地域の担い手不足が懸念されている状況であるため、優れた技術・能力を有する人材の発掘及び活用促進の取組を進めてほしいというニーズは増えてくると考えます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
	人材バンクの登録者の拡充については、直接的な働きかけができていないため、自治会や各種団体から人材を紹介してもらうなど、多方面にアプローチしていくことで、登録者数の増加が見込めると考えられます。しかし、人材バンクの活用については、人材バンクの内部共有を継続して実施しているものの、活用件数が増加していない状況であるため、今後は活用促進に向けて、制度自体の見直しを行い、地域が必要とする人材とのマッチングがしやすい要綱に改正したいと考えています。制度見直し後は自治会・各種団体への呼びかけや情報発信を積極的に行っていきます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 人材バンクについては、現行の制度における登録者の拡充及び活用促進の取組を進めるとともに、人材バンク制度をより良いものとするために制度内容の見直しと同時に、各種団体への働きかけや広報などについても検討していく必要があると考えます。				
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除	
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心一町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくりー			
		基本施策	③ 町民参画・協働・地域コミュニティ			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	③ 上牧町まちづくり人材バンクの拡充				
	指標（予定）	KPI	上牧町まちづくり人材バンクの登録者数		35人	
		KPI	上牧町まちづくり人材バンク登録者の活用人数（年間）		10人	
—						
—						

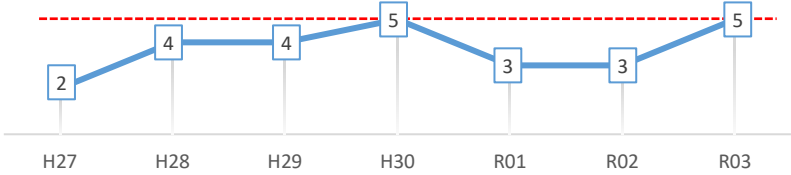
3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	自治会長向けの説明会は延期となり、令和3年度においてまちづくり協議会の設置に向けた機運を高めることはできませんでした。また、新型コロナウイルスの感染拡大の状況に鑑み、先進地視察もできませんでした。認可地縁団体の受け入れ態勢構築に向けて、2回の会議を開催しました。			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
	今後、地域における担い手不足が課題となる中で、まちづくり協議会等の地域における多様な主体で構成された新たな組織の設立を求める機運が高まることが想定されることから、ニーズは高まると考えます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
	まちづくり協議会を設立することで、協働参画によるまちづくりがさらに推進され、地域課題の解決にも寄与するものと考えられます。一方で、設立については、あくまで主体となる町民の意思が尊重されるものであり、まちづくり協議会の必要性の説明や各地区での準備会の設立に関する提案等、機運を醸成するための取組が必要であると考えますが、その核となる自治会長への啓発については、新型コロナウイルスの感染拡大が収束するまで行うことが難しい状況です。また、設立に向けての支援のあり方等について、地域のニーズに対してどのように対応していくのか内部で方針を検討する必要があります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） まちづくり協議会の設立に向けては、各地区ごとにニーズを把握し、町民の機運を高めていくこととあわせて、どのような方法で設立支援を行うのか、方針や体制の構築について検討を始めます。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心一町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくりー		
		基本施策	③ 町民参画・協働・地域コミュニティ		
施策の展開方向		④ 地域主体の協働のまちづくり			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）		まちづくり協議会の設立に向けては、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、自治連合会（定例会または臨時会、役員会）において必要性等に関する説明と各地区での準備会の設立に関する提案を行うとともに、設立に向けての支援のあり方等について、方針や体制構築に向けての検討を行います。また、認可地縁団体受け入れ体制の構築に向けて更に準備を進めます。			
指標（予定）	KPI	まちづくり協議会設置数		-	
	-				
	-				
	-				
	-				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由） 令和3年度は、4月の募集で4団体、8月の追加募集で1団体、計5団体からの申請があり、KPIの指標である「年間申請団体数」が目標値の5団体を達成しました。（うち1件は、不採択となりました。）今年度より、申請件数が少ない場合に追加募集ができる枠組みを設けたことが、本制度活用促進につながったと考えます。			
	【交付事業】 ●自由提案事業補助金 ①琉球國祭り太鼓（団体名：さぶらいが・べがの会）【補助金交付額4,654円】 ②コロナ禍の災害対策ワークショップ（団体名：かんまき自主防災ネットワーク）【補助金交付額77,527円】 ③コキア大作戦（団体名：片岡城址盛り上げ隊）【補助金交付額85,328円】 ●自立事業化前提型補助金 ①特定非営利活動法人上牧マリッジサポート・赤い糸設立準備（団体名：かんまき未来創造マリッジサポーター）【補助金交付額462,410円】			
ニーズの方向性	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。			
	【上牧町協働のまちづくり公募型補助金申請数】 			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 「上牧町協働のまちづくり公募型補助金事業」については、申請まで至っていない相談や問い合わせもあり、活用実績の増加に伴い認知度が高まることで、ニーズは今後も増えてくるとともに多様化してくるものと考えます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 補助金の活用を促進していくため方法の一つとして、今後は、事業の早期開始が可能となるよう募集開始時期の検討が必要であると考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 補助金の活用を促進していくため方法の一つとして、令和4年度からは、事前募集期間を設け、必要に応じて審査判定委員会を開き、早期の事業開始を可能とする枠組みとして補助金申請の募集を行います。		
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心—町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくり—	
		基本施策	③ 町民参画・協働・地域コミュニティ	
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	⑤ 公募型補助金の活用促進		
	指標（予定）	KPI	上牧町協働のまちづくり公募型補助金申請団体数（年間）	5件
		—		
—				
—				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																																																																									
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																																																																																																												
	<p>「学校・地域パートナーシップ事業」 主な活動として図書支援・環境支援・授業支援等を行いました。新型コロナウイルス感染症により、活動に制限がある中でも、できる範囲で工夫（密を避けてボランティアの人数を制限するなど）して実施しました。小学校について、登下校見守り支援では、登下校時にボランティアによる声かけによって、学校での出来事を話す児童がおり、児童にとって心の安心感へとつながる存在になっていると考えます。また、その他の支援についても、ボランティアとのつながりが強くなり、児童は気軽に声をかけたりすることが増え、地域交流が図られていると考えます。</p> <p>「コミュニティ・スクール」 コミュニティ・スクール導入に向けた検討会議を当初年5回を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で研修会1回のみの実施となりました。研修の内容としては、オンライン研修で奈良県コミュニティ・スクール研修会を課員で受講しました。滋賀県湖南市の学校運営協議会制度の導入事例を受講し、準備していくにあたっての進め方を学びました。また、規則や実施要領を今後制定していくにあたり、他市町の規則等を参考に準備を行いました。</p>																																																																																																												
	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																																																																																												
令和3年度 ボランティア登録者数 ※1名で複数校（園）に登録しているボランティアがいます。																																																																																																													
<table border="1"> <tr> <td>上牧小学校</td> <td>上牧第二小学校</td> <td>上牧第三小学校</td> <td>上牧中学校</td> <td>上牧第二中学校</td> <td>上牧幼稚園</td> </tr> <tr> <td>89名</td> <td>68名</td> <td>40名</td> <td>25名</td> <td>29名</td> <td>18名</td> </tr> </table>					上牧小学校	上牧第二小学校	上牧第三小学校	上牧中学校	上牧第二中学校	上牧幼稚園	89名	68名	40名	25名	29名	18名																																																																																													
上牧小学校	上牧第二小学校	上牧第三小学校	上牧中学校	上牧第二中学校	上牧幼稚園																																																																																																								
89名	68名	40名	25名	29名	18名																																																																																																								
令和3年度 地域コーディネーターの活動時間																																																																																																													
<table border="1"> <tr> <td>上牧小学校</td> <td>上牧第二小学校</td> <td>上牧第三小学校</td> <td>上牧中学校</td> <td>上牧第二中学校</td> <td>上牧幼稚園</td> </tr> <tr> <td>55時間</td> <td>9時間</td> <td>36時間</td> <td>34時間</td> <td>10時間</td> <td>20時間</td> </tr> </table>					上牧小学校	上牧第二小学校	上牧第三小学校	上牧中学校	上牧第二中学校	上牧幼稚園	55時間	9時間	36時間	34時間	10時間	20時間																																																																																													
上牧小学校	上牧第二小学校	上牧第三小学校	上牧中学校	上牧第二中学校	上牧幼稚園																																																																																																								
55時間	9時間	36時間	34時間	10時間	20時間																																																																																																								
※各学校・園のボランティア活動の内容により地域コーディネーターの活動時間が異なります。																																																																																																													
令和3年度 ボランティア活動実績（のべ数）																																																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">図書支援</th> <th colspan="2">学習支援</th> <th colspan="2">環境支援</th> <th colspan="2">登下校見守り支援</th> <th colspan="2">放課後学習支援</th> <th colspan="2">学校行事の運営支援</th> <th colspan="2">クラブ活動指導</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上牧小学校</td> <td>4日</td> <td>9名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>202日</td> <td>4,040名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>5日</td> <td>15名</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>上牧第二小学校</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>14日</td> <td>82名</td> <td>205日</td> <td>1,435名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>上牧第三小学校</td> <td>8日</td> <td>30名</td> <td>24日</td> <td>49名</td> <td>3日</td> <td>22名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1日</td> <td>4名</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>上牧中学校</td> <td>89日</td> <td>158名</td> <td>18日</td> <td>19名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>9日</td> <td>9名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>上牧第二中学校</td> <td>13日</td> <td>37名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>49日</td> <td>118名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>5日</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>上牧幼稚園</td> <td>1日</td> <td>3名</td> <td>18日</td> <td>67名</td> <td>4日</td> <td>10名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1日</td> <td>1名</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>						図書支援		学習支援		環境支援		登下校見守り支援		放課後学習支援		学校行事の運営支援		クラブ活動指導		上牧小学校	4日	9名	-	-	-	-	202日	4,040名	-	-	5日	15名	-	-	上牧第二小学校	-	-	-	-	14日	82名	205日	1,435名	-	-	-	-	-	-	上牧第三小学校	8日	30名	24日	49名	3日	22名	-	-	-	-	1日	4名	-	-	上牧中学校	89日	158名	18日	19名	-	-	-	-	9日	9名	-	-	-	-	上牧第二中学校	13日	37名	-	-	49日	118名	-	-	-	-	-	-	5日	5名	上牧幼稚園	1日	3名	18日	67名	4日	10名	-	-	-	-	1日	1名	-	-
	図書支援		学習支援		環境支援		登下校見守り支援		放課後学習支援		学校行事の運営支援		クラブ活動指導																																																																																																
上牧小学校	4日	9名	-	-	-	-	202日	4,040名	-	-	5日	15名	-	-																																																																																															
上牧第二小学校	-	-	-	-	14日	82名	205日	1,435名	-	-	-	-	-	-																																																																																															
上牧第三小学校	8日	30名	24日	49名	3日	22名	-	-	-	-	1日	4名	-	-																																																																																															
上牧中学校	89日	158名	18日	19名	-	-	-	-	9日	9名	-	-	-	-																																																																																															
上牧第二中学校	13日	37名	-	-	49日	118名	-	-	-	-	-	-	5日	5名																																																																																															
上牧幼稚園	1日	3名	18日	67名	4日	10名	-	-	-	-	1日	1名	-	-																																																																																															
※登下校見守り支援（小学校）についてはほぼ町内全域で行っていますが、自治会として活動しており、学校支援ボランティアとして登録されていない地区もあります。																																																																																																													
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																																																																									
	評価の根拠及び理由																																																																																																												
	<p>「学校・地域パートナーシップ事業」 令和3年度も地域のボランティアから意欲的により良い学校づくりのために様々な活動を行いたいと要望がありました。地域ぐるみで学校教育の充実と活性化を図るためには、ボランティアの存在が必要不可欠であり、地域の方々と良好な関係を保ち、子どもたちの健全育成に情熱を持って活動していただいていますので、ますます重要な人材となると考えます。</p> <p>「コミュニティ・スクール」 平成29年4月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の6では学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の設置が努力義務と法改正が行われており、近い将来コミュニティ・スクールの設置が義務化になると言われています。</p>																																																																																																												
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																																																																																																									
	評価の根拠及び理由																																																																																																												
	<p>「学校・地域パートナーシップ事業」 学校の要望のバランスがうまくとれるようなボランティアの配置が必要であり、併せて欠員補充のためにボランティアへの働きかけや新規のボランティアの募集が必要であると考えます。</p> <p>「コミュニティ・スクール」 上牧町では令和2年度から学校適正化協議会を設置し検討・協議を行っていますので、それに合わせてコミュニティ・スクールの導入時期等を検討していく必要があります。</p>																																																																																																												

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）	
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 「学校・地域パートナーシップ事業」 ボランティアの募集について、募集チラシを作成しカラーで活動写真を載せるなどの工夫はしていますが、現状どの活動にボランティアが必要かなど、分かりやすくインパクトのあるチラシの作成を検討していきます。 「コミュニティ・スクール」 コミュニティ・スクールについては各学校の運営方針等を検討する場となりますので、学校教育担当課である教育総務課と規則や実施要領の制定に向けて会議等を重ねて連携する必要があります。					
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心一町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくり				
		基本施策	③ 町民参画・協働・地域コミュニティ				
施策の展開方向		⑥ 地域コミュニティの強化					
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	「学校・地域パートナーシップ事業」 町内の小学校3校、中学校2校及び幼稚園において、学校支援ボランティアが図書支援・環境支援・登下校見守り支援・授業支援等を継続して行います。ボランティアの方々に、特技や趣味等を生かして学校の教育活動に協力していただくことにより、地域の教育力の向上と地域ぐるみで学校教育の充実と活性化を図ることを目的に実施します。 「コミュニティ・スクール」 令和4年度は学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）導入に向けた検討会議を年3回程度実施し、県教育委員会事務局に協力を得ながら、規則や実施要領の制定を目指していきます。						
	指標（予定）	KPI	学校支援ボランティア登録者数（年間）			250人	
		KPI	コミュニティ・スクール制度導入に向けた検討会議の開催数（年間）			3回	

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	ペガサスフェスタについては、新型コロナウイルス感染症の影響で開催することができませんでしたが、代替事業として、ペガサスフェスタのステージパフォーマンスの「動画配信」を行いました。ステージパフォーマンスについては、例年ペガサスフェスタに参加していただいている団体（保育園等）の協力を得て、ペガサスホールで演技をしていただきました。代替事業を行ったことで、町への関わる機会を提供できましたので概ね目標の成果が得られたと考えます。			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
	ペガサスフェスタについては出演、出展の要望が多く、町民が参画・協働できるイベントの実施に対するニーズは増えてくると考えます。このようなイベントを継続していくことでふるさと意識の高揚につながると考えます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
	ペガサスフェスタについては、今後もより魅力的なイベントになるよう工夫していくことで、上牧町への参加機会の提供に努めていく必要があると考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） ペガサスフェスタについては、今後も多くの方に参加していただけるよう、効果的な実施方法やニーズを把握しながら少しずつ装いを変えていきたいと考えています。また、ペガサスフェスタの実施にあたっては、定住促進やリターンのきっかけとなるようなイベントとして継続できるように取り組んでいきたいと考えます。		
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心一町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくりー	
		基本施策	③ 町民参画・協働・地域コミュニティ	
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	⑦ ふるさと意識の高揚		
	指標（予定）	KPI	「上牧町に住み続けたい」という人の割合	—
		独自	ペガサスフェスタ来場者数	3,500人
		—		
—				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																			
	<p>町の公式SNSであるLINEについては、新型コロナウイルス感染症やワクチン接種関連情報を町民のみなさんに即座に提供できるため、大いに活用することができました。</p> <p>ホームページについては、新型コロナウイルス、ワクチン接種専用ページを設け、日々発信を続けています。閲覧者が知りたい情報を迅速かつ適切に発信し続けたこともあり、成果指標としているホームページのアクセス数は目標値を大幅に超える461,429回と昨年よりも62%増加、目標よりも大きな成果が得られました。</p> <p>さらに、ホームページについてはアクセシビリティ、ユーザビリティの課題を解消し、増加するスマートフォンユーザーに対応した視認性の高い、より効果的な情報発信が可能なホームページへと令和4年4月1日にリニューアルします。</p> <p>また、新聞やテレビ等のメディアを通じた情報の発信を行います。</p> <p>≪情報発信≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タウンミーティング：中止 ・広報かんまき：毎月発行 ・HPにおける新コンテンツ追加：2コンテンツ ・Facebook投稿：30回 ・LINE投稿（トーク）：143回 ・YouTube投稿：19回 ・プレスリリース：11回 																			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																				
<p>ホームページアクセス数（回数）</p> <table border="1" style="margin: 0 auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>アクセス数（回数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>110,000</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>120,385</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>141,226</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>145,726</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>167,832</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>287,870</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>461,429</td> </tr> </tbody> </table>					年度	アクセス数（回数）	H27	110,000	H28	120,385	H29	141,226	H30	145,726	R01	167,832	R02	287,870	R03	461,429
年度	アクセス数（回数）																			
H27	110,000																			
H28	120,385																			
H29	141,226																			
H30	145,726																			
R01	167,832																			
R02	287,870																			
R03	461,429																			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>協働のまちづくりについては、情報発信・情報共有能力を充実させることで推進されると考えられますので、SNSの活用等、情報発信ツールの多様化に対するニーズは増加していくと考えます。</p>																			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない																
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>IT技術の革新により社会情勢やニーズは飛躍的に変化しており、それに対応するための情報発信ツール等の新たなサービスの導入を検討することが必要であると考えます。また、SNSの活用については、今後も積極的に検討していくことが必要であると考えます。スマートフォンを持たない方については、広報紙で情報を入手していただくこととなりますので、手にとっていただける広報紙作りを目標に作成します。</p>																			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） <p>IT技術の革新により社会情勢やニーズは飛躍的に変化しており、それに対応するための情報発信ツール等の新たなサービスの導入を検討することが必要であると考えます。また、SNSの活用については、今後も積極的に活用していくことが必要であると考えます。スマートフォンを持たない方については、広報紙で情報を入手していただくこととなりますので、手にとっていただける広報紙を目標に作成します。</p>			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心一町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくり		
		基本施策	④ 情報の発信と共有		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向		① 情報発信及び情報共有の充実		
	指標（予定）	KPI	SNSの延べフォロワー数	4,500人	
		KPI	ホームページのアクセス数（年間）	450,000件	
-					
-					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった									
	●事業の分析（評価の根拠・理由）												
	<p>「すむ・奈良・ほっかつ！事業」については、独自の指標である「プロモーション活動の認知度」の実績値が38.2%で、目標値の51.0%を下回ったことから、目標とする成果は得られなかったと考えます。移住促進の取組が令和2年度で縮小となったことで対外的なプロモーション活動がなくなり、既存作成物を活用したプロモーション活動のみとなったことが認知度低下の要因であると考えます。一方で、県主催のオンラインセミナー「奈良で働く相談会」へ「北葛城郡」として参加し、移住を考える方を対象に各町の紹介を行いました。その後、参加者からは県を通して空き家物件についての質問があったため、一定の反響は見られたと考えます。</p>												
ニーズの方向性	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。												
	【プロモーション活動の認知度（%）】												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>認知度 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>46.5</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>48.1</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>50.6</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>38.2</td> </tr> </tbody> </table>				年度	認知度 (%)	H30	46.5	R01	48.1	R02	50.6	R03
年度	認知度 (%)												
H30	46.5												
R01	48.1												
R02	50.6												
R03	38.2												
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない									
	評価の根拠及び理由												
	<p>大阪府周辺のベッドタウンとなる自治体との比較の中で、知名度の面を考慮すると、暮らしやすい住環境を町外へPRしていくことが必要であり、継続的かつ効果的なPR活動を実施することで、定住人口・関係人口の増加につなげていきたいと考えます。</p>												
事業の見直し余地（改善点）	評価の根拠及び理由												
	<p>「すむ・奈良・ほっかつ！事業」については、広域観光について新たな取組もしくは、現時点において町単独で実施している事業の広域展開を進めていく必要があります。</p>												

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 「すむ・奈良・ほっかつ！事業」については、「すむ・奈良・ほっかつ！推進協議会」の中で、4町共同での新たな取組もしくは、現時点において町単独で実施している事業の広域展開を進めていく必要があります。			
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心一町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくりー		
		基本施策	④ 情報の発信と共有		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	② シティプロモーション活動の推進			
	引き続き、「すむ・奈良・ほっかつ！事業」において、近隣自治体と連携し、事業を継続していきます。北葛城ホームページ等の既存作成物を活用したPR活動を継続していくとともに、「すむ・奈良・ほっかつ！推進協議会」の中で、広域観光について現時点において町単独で実施している事業の広域展開をまずは進めていきます。				
	指標（予定）	KPI	プロモーション活動・媒体の認知度	50%	

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>【情報セキュリティの強化】【情報基盤の充実】 新型コロナウイルス感染症の感染リスクに対応しつつ、職員の情報資産に対するセキュリティ意識の向上を目的に動画での研修を行いました。 情報系パソコン（100台）、プリンタの更新及び情報系パソコンからのインターネット閲覧を可能にしたことにより、業務の効率化及び迅速化が実現でき、情報系及びインターネット系のサーバの更新を行った結果、機器の脆弱性、故障等に対応することができました。</p> <p>【防災行政無線】 全国瞬時警報システム全国一斉情報伝達訓練 3回（5/19、10/6、2/16） 緊急地震速報訓練 2回（6/17、11/5）</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 令和3年9月1日、「デジタル社会の実現」を目指し、デジタル庁が発足されたことに伴い、幅広い分野での行政サービスのデジタル化が加速していくことが予想されます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 各種分野でのデジタル化が加速しており、システムが複雑化及び専門化していく中で、庁内体制の脆弱さが浮き彫りになってきています。 庁内体制の整備、強化及び拡充、職員の教育等行政サービスのデジタル化を推進していく中で必要な部分が不足しているため、町としての目指すべき将来像を描くことができない状態です。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 町財政、職員の定数等との関係もあり、直ぐに改善できる課題ではないですが、現状、可能な範囲の中で制度変化に対応し、町民が利用しやすい行政サービスの提供及び基盤整備を目指します。		
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心—町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくり—	
		基本施策	⑤ 情報基盤	
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向		① 情報セキュリティの強化 / ② 行政手続き等のオンライン化の推進	
	指標（予定）	KPI	情報セキュリティに対する遵守意識度	96.5%
		KPI	行政手続のオンライン化率	—
		—		
—				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																																						
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																																																																									
	<p>マイナンバーカードの取得者の上牧町在住の方において、日本全国の主要コンビニ等で行政証明（住民票・印鑑証明書）を本庁及び片岡出張所で取得するより、交付手数料が100円安く、平日土日祝日の6：30～23：00まで提供を実施しており、住民の方への周知を通じてマイナンバーカードの発行の増加につながったことにより、コンビニ交付による行政証明書取得件数は増加しました。</p> <p>日中に窓口へ取りに来れない方のために、電話等で予約を受け、平日17:15～19:30、土日祝日8:30～19：30までの間で来庁していた。また、夜間・休日の交付を行ったことで、普及率の増加に繋がったと考えます。</p> <p>マイナポイントが終了予定だったため、駆け込みで申請と交付が増加したと考えています。</p> <p>延長後も、終了予定時期前後に集中して増加しております。</p>																																																																									
	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																																																									
【マイナンバーカード申請数・交付枚数の推移】																																																																										
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>R3</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月別申請数</td> <td>691</td> <td>241</td> <td>79</td> <td>36</td> <td>56</td> <td>63</td> <td>85</td> <td>256</td> <td>129</td> <td>104</td> <td>103</td> <td>181</td> </tr> <tr> <td>申請件数</td> <td>9,149</td> <td>9,390</td> <td>9,469</td> <td>9,505</td> <td>9,561</td> <td>9,624</td> <td>9,709</td> <td>9,965</td> <td>10,094</td> <td>10,198</td> <td>10,301</td> <td>10,482</td> </tr> <tr> <td>交付</td> <td>523</td> <td>426</td> <td>526</td> <td>222</td> <td>207</td> <td>100</td> <td>81</td> <td>126</td> <td>150</td> <td>130</td> <td>114</td> <td>139</td> </tr> <tr> <td>交付</td> <td>6,963</td> <td>7,389</td> <td>7,915</td> <td>8,137</td> <td>8,344</td> <td>8,444</td> <td>8,525</td> <td>8,651</td> <td>8,801</td> <td>8,931</td> <td>9,045</td> <td>9,184</td> </tr> </tbody> </table>					R3	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月別申請数	691	241	79	36	56	63	85	256	129	104	103	181	申請件数	9,149	9,390	9,469	9,505	9,561	9,624	9,709	9,965	10,094	10,198	10,301	10,482	交付	523	426	526	222	207	100	81	126	150	130	114	139	交付	6,963	7,389	7,915	8,137	8,344	8,444	8,525	8,651	8,801	8,931	9,045	9,184					
R3	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																														
月別申請数	691	241	79	36	56	63	85	256	129	104	103	181																																																														
申請件数	9,149	9,390	9,469	9,505	9,561	9,624	9,709	9,965	10,094	10,198	10,301	10,482																																																														
交付	523	426	526	222	207	100	81	126	150	130	114	139																																																														
交付	6,963	7,389	7,915	8,137	8,344	8,444	8,525	8,651	8,801	8,931	9,045	9,184																																																														
【マイナンバーカード休日交付・夜間交付実施数】																																																																										
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>R3</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土日交付</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>夜間交付</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>					R3	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	土日交付	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	夜間交付	3	3	2	2	1	0	0	1	1	1	1	1																															
R3	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																														
土日交付	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																														
夜間交付	3	3	2	2	1	0	0	1	1	1	1	1																																																														
住民保険課窓口発行枚数																																																																										
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住民票</td> <td>708</td> <td>500</td> <td>895</td> <td>681</td> <td>542</td> <td>529</td> <td>615</td> <td>508</td> <td>452</td> <td>597</td> <td>508</td> <td>830</td> <td>7,365</td> </tr> <tr> <td>印鑑</td> <td>212,400</td> <td>150,000</td> <td>268,500</td> <td>204,300</td> <td>162,600</td> <td>158,700</td> <td>184,500</td> <td>152,400</td> <td>135,600</td> <td>179,100</td> <td>152,400</td> <td>249,000</td> <td>2,209,500</td> </tr> <tr> <td></td> <td>376</td> <td>374</td> <td>334</td> <td>307</td> <td>343</td> <td>325</td> <td>290</td> <td>290</td> <td>299</td> <td>310</td> <td>294</td> <td>314</td> <td>3,856</td> </tr> <tr> <td>印鑑</td> <td>112,800</td> <td>112,200</td> <td>100,200</td> <td>92,100</td> <td>102,900</td> <td>97,500</td> <td>87,000</td> <td>87,000</td> <td>89,700</td> <td>93,000</td> <td>88,200</td> <td>94,200</td> <td>1,156,800</td> </tr> </tbody> </table>						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	住民票	708	500	895	681	542	529	615	508	452	597	508	830	7,365	印鑑	212,400	150,000	268,500	204,300	162,600	158,700	184,500	152,400	135,600	179,100	152,400	249,000	2,209,500		376	374	334	307	343	325	290	290	299	310	294	314	3,856	印鑑	112,800	112,200	100,200	92,100	102,900	97,500	87,000	87,000	89,700	93,000	88,200	94,200	1,156,800
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																													
住民票	708	500	895	681	542	529	615	508	452	597	508	830	7,365																																																													
印鑑	212,400	150,000	268,500	204,300	162,600	158,700	184,500	152,400	135,600	179,100	152,400	249,000	2,209,500																																																													
	376	374	334	307	343	325	290	290	299	310	294	314	3,856																																																													
印鑑	112,800	112,200	100,200	92,100	102,900	97,500	87,000	87,000	89,700	93,000	88,200	94,200	1,156,800																																																													
コンビニ発行枚数																																																																										
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住民票</td> <td>75</td> <td>76</td> <td>81</td> <td>86</td> <td>94</td> <td>77</td> <td>93</td> <td>86</td> <td>83</td> <td>127</td> <td>101</td> <td>144</td> <td>1,123</td> </tr> <tr> <td></td> <td>15,000</td> <td>15,200</td> <td>16,200</td> <td>17,200</td> <td>18,800</td> <td>15,400</td> <td>18,600</td> <td>17,200</td> <td>16,600</td> <td>25,400</td> <td>20,200</td> <td>28,800</td> <td>224,600</td> </tr> <tr> <td>印鑑</td> <td>53</td> <td>47</td> <td>47</td> <td>54</td> <td>60</td> <td>63</td> <td>54</td> <td>74</td> <td>74</td> <td>75</td> <td>97</td> <td>101</td> <td>799</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10,600</td> <td>9,400</td> <td>9,400</td> <td>10,800</td> <td>12,000</td> <td>12,600</td> <td>10,800</td> <td>14,800</td> <td>14,800</td> <td>15,000</td> <td>19,400</td> <td>20,200</td> <td>159,800</td> </tr> </tbody> </table>						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	住民票	75	76	81	86	94	77	93	86	83	127	101	144	1,123		15,000	15,200	16,200	17,200	18,800	15,400	18,600	17,200	16,600	25,400	20,200	28,800	224,600	印鑑	53	47	47	54	60	63	54	74	74	75	97	101	799		10,600	9,400	9,400	10,800	12,000	12,600	10,800	14,800	14,800	15,000	19,400	20,200	159,800
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																													
住民票	75	76	81	86	94	77	93	86	83	127	101	144	1,123																																																													
	15,000	15,200	16,200	17,200	18,800	15,400	18,600	17,200	16,600	25,400	20,200	28,800	224,600																																																													
印鑑	53	47	47	54	60	63	54	74	74	75	97	101	799																																																													
	10,600	9,400	9,400	10,800	12,000	12,600	10,800	14,800	14,800	15,000	19,400	20,200	159,800																																																													
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																																						
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>マイナポイント付与額の増加により問い合わせが増え、カードの取得率も増加しています。保険証との連携やマイナポータルでの医療費確認、ワクチン接種証明の取得などによって利便性が上がっているためだと考えられます。</p>																																																																									
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																																																																						
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>休日や夜間の交付などについては、上牧町HP・広報やLINEを利用して周知を行います。また、マイナンバーカードの取得時の手続きの見直し、負担を減らせるように検討を行います。</p>																																																																									

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）	
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 申請時来庁方式の導入などを検討し、マイナンバーカードの取得時の負担を減らすように検討を行います。					
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心一町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくりー				
		基本施策	⑤ 情報基盤				
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	③ マイナンバーカードの普及促進					
	指標（予定）	KPI	上牧町におけるコンビニ交付による証明書等の発行率			16%	
		KPI	マイナンバーカードの交付率			45%	
—							
—							

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	『地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業』を実施しました。 実施回数：3回 アドバイザー：松永 聡平氏 実施日：7月1日（木）、8月5日（木）、令和4年2月22日（火） 主な研修内容： ・上牧町内の公共施設の現地視察及び課題の把握 ・公共施設等総合管理計画の改訂における助言 ・施設の包括管理における広域化の可能性について ・上牧町公共施設等総合管理計画改訂（案）における改善点等について			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 今後、施設の老朽化や未利用施設が増えるにつれ、利用者や施設周辺の住民から修繕や活用の要望が増えると考えられます。また、高齢化に伴いバリアフリー化への要望も増えると考えられます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 2017年に行った公共建築物の整備の方向性についてのアンケート調査によると、「積極的に、統廃合・複合化を進める」という意見が最も多かったため、建て替えの時期に合わせて統廃合及び施設の集約化・複合化を検討します。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）	
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 定期点検サイクル等を考慮の上計画期間を設定し、点検結果等を踏まえ、適宜柔軟対応するものとします。今後、知見やノウハウの蓄積を進め、中長期的な維持管理・更新等に係るコストの見通しの精度向上を図ります。					
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心一町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくりー				
		基本施策	⑥ 公共施設				
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	① 公共施設の適正な管理運営					
	指標（予定）	－					
		－					
		－					
		－					
－							

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>ホールの運営について、運営スタッフ・事務局の研修効果や機器更新に伴い汎用性も高まり、専門技術者の発掘による運営効率が改善できています。また、駐車場の増設による収容台数の増加と、その増設駐車場を利用したイベントの導入による地域住民との連携が構築できました。これらの効果によりホールの利用回数が倍増しており、ホール使用料についても近隣ホールと比較し、適切な料金帯でご利用いただいております。利用者並びに来館者からの高評価もいただいております。昨年度に引き続き、本年度2回のベガサスホール運営検討委員会を追加開催し、検討できていなかったホール開館に伴う経費について、今後10年間に想定される工事の試算を協議・検討を行い答申を行いました。</p> <p>○空調機更新工事について、計画通りに事業が進んでおり、令和4年6月末に事業完了です。</p> <p>○個別施設計画では、公民館の現況及び利用状況の調査を終え、マネジメント委員会へ報告しました。</p>			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。			
	<p>昨年より繰り越したベガサスホール運営検討委員会が協議・検討を終え、8月3日に下記項目について検証結果を報告し答申を行いました。</p> <p>①ベガサスホールの運営について ②ホール運営スタッフについて ③ホール開館に伴う経費及び舞台設備点検について ④使用料等の近隣動向やルールについて ⑤ベガサスホールの有効利用について</p> <p>・文化センターの空調機更新工事を補正計上し、入札・契約・施工前調査を計画的に進めました。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。			
	<p>想定される工事と実施工事の間にかかる差異を埋めるには、定期的に業者へ調査依頼することが最も効果的と考えられます。</p> <p>個別施設計画では、各公民館（13施設）が本当に必要かどうかについて、町と自治会（一般利用者）が利用する比率の算出や、隣接する公民館・老人憩いの家・集会所の距離や延床面積あたりの利用人数の分析を行うなど、複合的な情報をもとに持続可能な公民館を把握することが必要であると考えます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 定期的に業者へ調査依頼するにも費用が必要なため、定期的に専門家と施設の確認をしながら、故障リスクの洗い出しを行い、長寿命化できるものに優先順位をつけ、定期的に工事予定リストの更新に取り組みます。 個別施設計画において、各公民館の現況や利用状況を確認しながら、公民館のあり方も含め、検討する必要があります。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心一町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくりー		
		基本施策	⑥ 公共施設		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	② 市町村間での公共施設の相互利用			
	指標（予定）	KPI	ベガサスホール利用日数	105日	
		独自	ベガサスホール利用後の満足度（リピート率）	90%	
		ー			
		ー			
ー					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	令和3年度は広域連携検討会が4回開催され、公共施設の相互利用の実証実験に関する協定書（案）及び奈良電子自治体共同システムである「e古都なら」（奈良県と県内市町村におけるインターネットを利用した電子申請サービス環境）を活用した実証実験の検討を行いました。			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
	奈良電子自治体共同システムである「e古都なら」を活用した実証実験を通して、運用課題の抽出・分析や広域連携対象施設利用者のとりまとめを定期的に行うことで利用者の利便性向上につながっていくため、ニーズはあると考えます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
	今後は実証実験等により得られた課題に対して、今後の取組に活かす必要があります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 今後は実証実験等により得られた課題に対して、今後の取組に活かす必要があります。		
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心一町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくりー	
		基本施策	⑥ 公共施設	
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	② 市町村間での公共施設の相互利用		
	今後は仕様書の確定及び協定の締結を始めとして令和4年度中に実証実験が開始できるよう進めていきます。			
	指標（予定）	KPI	公共施設の満足度	—
		—		
		—		
		—		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>当初予定していた訓練等の事業は新型コロナウイルス感染拡大に伴い実施できませんでしたが、以下の事業を実施しました。</p> <p>▼新型コロナウイルス感染症に配慮した災害避難所開設・運営の勉強会と体験型訓練（主催：かんまき自主防災ネットワーク） 令和3年11月14日（日） 場所：上牧町役場 対象：町内在住防災士および自治会長 かんまき自主防災ネットワークが主催し、町内在住の防災士や自治会長を対象に、有事の際行政だけでは対応ができないことが想定される初期の避難所運営について実技訓練を行いました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「上牧町避難所運営マニュアル」の解説 「新型コロナウイルス禍の災害避難所の開設・運営」の体験型訓練と質疑・講評 <p>▼防災士資格取得（1名） ▼シェイクアウト訓練の実施（本庁、町立保育所・幼稚園・小中学校） ▼子ども用災害物資備蓄数（20種類）</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>訓練を通じて住民一人ひとりが自分の身は自分で守る「自助」・地域や近隣の人々が協力し合いながら防災活動に組織的に取り組む「共助」に対する支援が求められます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>「近隣自治体との合同防災訓練の実施」や「子ども向け防災教室の拡充」、「乳幼児子ども防災意識向上事業の実施」が必要であると考えます。また、防災士との連携を図り、自主防災組織等が行う防災活動を支援し、防災・減災体制の充実に取り組む必要があります。</p> <p>今後は、新型コロナウイルス感染防止対策に配慮した避難所開設が求められることから、住民向けの訓練も必要となってくると考えます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 子ども向け防災教室の拡充、乳幼児子ども防災意識の向上として、親子で気軽に楽しみながら参加できる教室等を開催します。開催方法や内容については、災害協定を締結を行っている各団体と相談し、より具体的で子どもにも分かりやすいものになります。 新型コロナウイルス感染症の対策を踏まえた避難所運営訓練（住民向け）を実施し、町民の意識向上を促します。		
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心—町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくり—	
		基本施策	⑦ 防災	
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	① 地域の防災力の向上		
	指標（予定）	KPI	子ども防災意識の向上教室の開催回数	1回
		KPI	地域防災訓練の支援回数（年間）	3回
		KPI	防災士資格取得支援者数（累計）	130人
		KPI	広域防災訓練開催に向けた検討会議の開催回数（年間）	1回
		—		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、町内医療機関との災害時における連携協定を計画通り進めることができませんでした。以下の災害協定を締結しました。 ●災害時における連携協定 2件 ・株式会社カツラギレンタル 「災害時における応急対策に関する応援協定」 ・佐川急便株式会社 京都支店 「上牧町と佐川急便株式会社との地域活性化に係る包括的連携協定」			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 昨今、日本全国で発生している大規模地震や大雨による土砂災害や河川の氾濫等の自然災害に対する取組への関心が高まっているため、上牧町においても近年増加する自然災害に対し、住民の災害時医療サービスの拡充を求める声は強くなると想定しています。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 町の医師会等との協定締結に向けて、医療機関の関係部局である生き生き対策課との連携を図り、より細部についての構築を進めていく必要があります。また、災害時のペットの治療や一時的な預かり所として動物病院とも協定を締結する必要があります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 今後も町医師会や動物病院に防災訓練へ参加していただくなど、緊急時における連携の強化を行います。また、町内医療機関との災害時における連携協定に向けても進めていく必要があります。		
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心一町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくりー	
		基本施策	⑦ 防災	
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	② 災害時の救急医療体制強化		
	災害発生時に即座に対応するため、医師会等の医療機関及び動物病院との協定締結を進め、災害時の救急医療体制の強化を進めていきます。			
	指標（予定）	KPI	災害時における連携協定締結件数	43件
		—		
		—		
		—		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった		
	●事業の分析（評価の根拠・理由）					
	●災害備蓄備品の整備 ・アルファ米750食 ・携帯おにぎり350食 ・備蓄用パン612食 ・備蓄用ライスクッキー480食 ・粉ミルク6,912食 ・ビスコ1,200食 ・飲料水500ml 1,200本 ●災害時における連携協定 2件 ・株式会社カワガキレンタル 「災害時における応急対策に関する応援協定」 ・佐川急便株式会社 京都支店 「上牧町と佐川急便株式会社との地域活性化に係る包括的連携協定」 ●災害時要配慮者名簿の登録者数 130人 ●上牧町お知らせメールの登録者数 1,717人					
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。						
		H29	H30	R01	R02	R03
災害時要配慮者名簿登録者数（人）		167	177	182	185	130
上牧町お知らせメール登録者数（人）		458	1,153	1,329	1,498	1,717
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある		
	評価の根拠及び理由 町民や地域における自助・共助の取組の支援を行います。 災害時に備えて災害用備蓄物資等の充実が求められます。					
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない		
	評価の根拠及び理由 今後も奈良県の地域防災計画の動向を見据えながら進める必要があります。 上牧町の最も被害が多い地震で最大避難者数を約5,800人と想定し、備蓄整備計画を策定しました。目標数に達していない備蓄の整備が必要です。					

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 今後も上牧町の現況に沿った計画について研究し、県の動向にも注視します。 上牧町の最も被害が多い地震で最大避難者数を約5,800人と想定し、備蓄整備計画を策定しました。目標数に達していない備蓄の整備が必要になります。 また、新型コロナウイルス感染症対策として、感染症を防ぐためのパーティションや災害用テント等を準備し、安全安心な避難所運営が可能な体制整備を進めます。				
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除	
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心一町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくりー			
		基本施策	⑦ 防災			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	③ 消防防災体制の強化				
	災害備蓄備品の整備については、備蓄食料品のローリングを行い、不足した食料品の補充を行います。 子ども用防災物資においては、備蓄食料品の見直しを行い、より食べやすく、食物アレルギーに対応した補充を行います。 備蓄備品や避難所運営において、新型コロナウイルスの感染予防対策を行います。 防災、自主防犯の啓発として、上牧町お知らせメールの登録について広報等を利用して促進していきます。 災害時要配慮者名簿の更新を行います。 防災拠点整備のための検討・準備を行います。 消防屯所の建替計画に伴う実施設計業務を行います。					
	指標（予定）	KPI	災害時における連携協定締結件数			43件
		—				
		—				
		—				
		—				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																														
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																																																	
	令和3年度については、アスガ谷池、ワンダラ池の治水対策工事を実施しました。対策量としては、アスガ谷池（1,393m ³ ）、ワンダラ池（2,580m ³ ）となり、計3,973m ³ の治水対策が完了しました。																																																	
	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																																	
○雨水貯留浸透事業計画工程表 単位 m³																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">最小必要量</th> <th rowspan="2">令和元年度</th> <th colspan="4">目標値</th> </tr> <tr> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>雨水貯留</td> <td>1,350</td> <td>2,027</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ため池貯留</td> <td rowspan="2">21,600</td> <td>5,450</td> <td>3,973</td> <td>7,200</td> <td>3,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水田貯留</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>(計) 流域対策量</td> <td>22,950</td> <td>7,477</td> <td>11,450</td> <td>18,650</td> <td>22,650</td> <td>23,650</td> </tr> <tr> <td></td> <td>100.0%</td> <td>33%</td> <td>50%</td> <td>81%</td> <td>99%</td> <td>103%</td> </tr> </tbody> </table>					項目	最小必要量	令和元年度	目標値				令和3年度	令和5年度	令和7年度	令和9年度	雨水貯留	1,350	2,027					ため池貯留	21,600	5,450	3,973	7,200	3,000		水田貯留					1,000	1,000	(計) 流域対策量	22,950	7,477	11,450	18,650	22,650	23,650		100.0%	33%	50%	81%	99%	103%
項目	最小必要量	令和元年度	目標値																																															
			令和3年度	令和5年度	令和7年度	令和9年度																																												
雨水貯留	1,350	2,027																																																
ため池貯留	21,600	5,450	3,973	7,200	3,000																																													
水田貯留						1,000	1,000																																											
(計) 流域対策量	22,950	7,477	11,450	18,650	22,650	23,650																																												
	100.0%	33%	50%	81%	99%	103%																																												
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																														
	評価の根拠及び理由 近年、異常気象による集中豪雨等で災害が各所で発生していることから、奈良県平成緊急内水対策事業等の新たな事業を発足し災害対策を促進されています。ため池や水田、雨水施設等の貯留施設を適地に整備する対策事業を新たに進める方針を掲げていることもあり、ニーズの方向性は増加する傾向にあります。																																																	
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																																														
	評価の根拠及び理由 大和川流域総合治水対策事業の計画達成に向け、奈良県とともに当町が主体となり精力的に事業の推進に力を尽くす必要があります。																																																	

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 「ため池治水対策の可能性の高いため池（6池）」について、自治会並びに水利組合等に調査結果をもとに事業内容の説明を行い事業実施の合意を得て、現況余水吐けの切下げ工法により治水対策を進めていきます。しかし、平成30年度の予備調査業務結果では、上記の工法のみでは目標治水対策量を達成できないとの検討結果となりました。そのため、水田貯留による対策容量を確保する新たな治水対策工法の検討する必要があります。現在の現況余水吐けの切下げ工法による対策が完了した後は、新たな予備調査を実施し目標治水対策容量である21,600m ³ の達成を目指す必要があります。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	政策	① 行政・安全安心—町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくり—			
	位置づけ	基本施策	⑦ 防災		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	④ 治山・治水			
	ため池貯留浸透事業として、中山谷池、秩父池における貯留施設の測量設計業務を行います。 ため池貯留浸透対策予定量として中山谷池 2,200m ³ 、秩父池 5,000m ³ 進捗予定 令和3年度末現在 9,423m ³ /21,600m ³ 44% 令和5年度末予定 16,623m ³ /21,600m ³ 77%				
	また、県において水位周知河川以外の管理河川（その他河川）について、洪水浸水想定区域図を4年度末を目途に県内全水系で作成中です。この浸水想定区域図を用いて、令和5年度に洪水ハザードマップの改訂版もしくは新設の作成の準備（交付金申請）を進めていきます。				
	指標（予定）	KPI	大和川流域総合治水対策容量		44%
		—			
		—			
		—			

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由） 町内の保育所、幼稚園、小学校に出向き西和警察署と協力して交通安全教室を開催しました。（上小（R3.10.7）、二小（R3.6.7）、三小（R3.4.30）、上牧幼稚園（R3.5.24）、第一保育所・慈光保育園・黎明保育園・やまびこ保育園（R3.11.9）、片岡台幼稚園（R3.6.10）） 朝の登校時に交通安全の啓発活動及び立哨を実施しました。 総務課、教育総務課、建設環境課や西和警察署等による安全確保合同点検を実施しました。 毎月1日・15日には、公用車で町内を巡回し、交通安全の啓発も実施しました。 高齢者対象の自転車用ヘルメット購入費の補助を行いました。（件数26件 補助金額101,300円） 西和地区防犯協議会による防犯電話購入費の補助を行いました。（件数29件 補助金額145,000円）			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 住宅地も増え、交通量が増えることにより、危険箇所や通学路の安全整備が求められます。また、高齢化とともに悪質な詐欺による注意喚起の必要性が求められます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 道路に貼る注意喚起のステッカー（止まれ）で再度認識してもらえるように努めたいと思います。 通学路点検・カーブミラーの点検等、安心できるように取り組む必要があります。 令和元年10月に「奈良県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が施行されました。高齢者の自転車用ヘルメット着用の義務化を周知し、着用の徹底を図ります。また、補助対象を7歳～18歳までの子どもにも拡大し、自転車運転時のヘルメット着用の啓発に努めます。 特殊詐欺等の被害防止に効果的な「防犯機能を備えた電話」の普及促進を図ります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）	
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 道路に貼る注意喚起のステッカー（止まれ）の配布に関して再度認識してもらえるように努めたいと思います。 通学路点検・カーブミラーの点検など安心できるように取り組む必要があります。 令和元年10月に「奈良県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が施行され、高齢者の自転車用ヘルメット着用の義務化に伴うヘルメット購入費補助を実施し、令和3年度に実績としては26件ありましたので、令和4年度には7歳～18歳まで対象を増やし、ヘルメット着用を徹底できるよう努めます。また、特殊詐欺等の被害防止に効果的な「防犯機能を備えた電話」の普及促進を図るため、周知徹底を強化します。					
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心一町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくりー				
		基本施策	⑧ 安全安心・防犯				
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	① 安全安心なまちづくり					
	指標（予定）	KPI	自転車用ヘルメット購入費補助件数（累計）			70件	
		独自	高齢者防犯電話購入費補助件数（累計）			50件	
		—					
		—					
—							

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																								
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																											
	<p>【医療機関との連携強化】 令和3年6月の1か月間を対象に「西和地域7町における入退院連携マニュアル」を利用している状況調査として、西和6病院（※）および西和7町のケアマネ事業所を対象に入退院連携実施状況のアンケート調査を実施しました。結果、入院時にケアマネジャーが病院へ提出する情報提供書の提出率は100%でしたが、退院時に病院からケアマネジャーへ連絡をする退院調整率が前年度の92.3%から82.5%へと下落しました。原因として、コロナ禍であることや急な退院となった等の理由が挙げられています。引き続き、退院調整率の高い水準が維持できるよう事業を実施します。また、「あんしんセット」についても、令和3年度からの導入に向けて西和地域7町の医療機関・ケアマネジャーの意見をもとに予定通り作成し、ケアマネジャーを通し住民へ配布しました。</p> <p>【緊急通報見守り支援事業】 令和3年度は年間延べ1,921人（毎月147～166人前後）の方が緊急通報装置を利用し、対象となるかたに積極的な勧奨を行った結果、固定電話型21件、モバイル型9件の計30世帯のかたの新規申請に結びつきました。また、緊急通報装置によって年間15件の救急車の要請を行い、日々の健康相談に専門家に対応する相談ボタンは毎月10～15件程度の利用がありました。救急搬送に繋がったケースについては家族やケアマネジャー等と情報共有を図り介護サービスの導入を図ったり、月2回の安否確認時に気になる様子のあった高齢者についてコールセンターから地域包括支援センターへの報告をもとに介入を図ったりするなど、地域包括支援センター・医療・介護関係機関及び委託事業所の三者が連携し高齢者が安心して生活できるまちづくりにもつながっています。</p> <p>※西和6病院：西和医療センター、ハートランドしぎさん、恵王病院、服部記念病院、奈良友誼会病院、西大和リハビリテーション病院</p>																											
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">【緊急通報装置利用者数】</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規登録者数（人）</td> <td>28</td> <td>36</td> <td>35</td> <td>38</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>利用者数（人）</td> <td>104</td> <td>123</td> <td>137</td> <td>150</td> <td>166</td> </tr> </tbody> </table>					【緊急通報装置利用者数】							H29	H30	R01	R02	R03	新規登録者数（人）	28	36	35	38	30	利用者数（人）	104	123	137	150	166
【緊急通報装置利用者数】																												
	H29	H30	R01	R02	R03																							
新規登録者数（人）	28	36	35	38	30																							
利用者数（人）	104	123	137	150	166																							
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																								
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>今後も高齢化率の上昇や独居高齢者・高齢夫婦のみ世帯の増加が見込まれることから、健康上の相談が気軽にでき、緊急時には必ず駆けつけることのできる本事業への需要はますます高まることが予想されます。また、医療や介護を必要とする高齢者も今後さらに増加すると見込まれ、住み慣れた地域での生活を継続するためには関係機関での連携が必要不可欠であり、さらに強化することが望まれます。</p>																											
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input checked="" type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																								
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>【緊急通報見守り支援事業】 今年度新たに『モバイル型』を導入したことにより、固定電話を所持していない・回線が適合しないといった理由により、本事業が利用できなかった方を広く受け入れる体制を整えることができました。</p>																											

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）	
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input checked="" type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）					
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心一町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくりー				
		基本施策	⑧ 安全安心・防犯				
施策の展開方向		② 緊急医療の充実					
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>『医療機関との連携強化』 令和4年度では、コロナ禍で入退院連携での問題点や工夫点をケアマネジャーに確認し、病院側へ情報提供を行います。また、例年通り入退院連携状況調査も10月に実施します。事前に調査したコロナ禍における入退院連携での問題点と状況調査に基づく連携率を照らし合わせ、より具体的な問題点を抽出し令和5年3月に医師会、県、保健所等を交え全体会議を実施し課題解決に向けた協議を実施します。</p> <p>『緊急通報見守り支援事業』 独居高齢者や高齢者世帯、日中独居の高齢者を対象に、ボタンを押すだけで緊急時の救急車の要請や日常での健康上の相談が可能な緊急通報装置を設置します。利用者には月2回看護師等が状況を電話で確認します。令和4年度も当事業の周知を継続し、対象となる方には積極的に勧奨を行います。</p>						
	指標（予定）	KPI	緊急通報装置新規申請件数（世帯）			40世帯	

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由） 新型コロナウイルス感染症の影響により、上牧町自治連合会による防犯活動出発式を実施することができませんでしたが、防犯ポスター及びのぼりを各自治会に配布し、啓発に取り組みました。 なお、この防犯ポスターは上牧中学校生徒（当時）が描いたもので、西和警察署2020年特殊詐欺被害防止はがきの優秀作品をポスター化したものです。 （主な取り組み） <秘書人事課> 上牧町自治連合会による防犯ポスター「渡すな！キャッシュカード 教えるな！暗証番号」及びのぼりの制作と配布 <総務課> 防災リーダー育成研修（防災士資格取得人数1名 累計117名）			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 安全安心まちづくりを支える地域活動として、今後もニーズは変わらないと考えます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 防犯の強化、担い手の掘り起こしや育成等、今後も安全安心に暮らすことのできるまちを維持していくために、将来的な支援のあり方について検討する必要があると考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 自主防犯活動の推進、担い手の確保にあたり、他自治体の取組を参考にしながら支援のあり方について検討を図ります。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心一町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくりー		
		基本施策	③ 安全安心・防犯		
施策の展開方向		③ 自主防犯活動の推進			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）		自主防犯活動の支援を継続することで、町民参画による協働のまちづくりを推進していきます。上牧町自治連合会に対し補助金を交付し、防犯活動の援助を支援します。			
指標（予定）	KPI	自主防犯活動者育成セミナー開催回数（年間）		1回	
	—				
	—				
	—				
	—				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった															
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																		
	<p>・町民・行政・西和警察署が一体となり犯罪から守るべく防犯パトロールの強化を実施しました。</p> <p>・防犯カメラについては、新たに6台設置を行い、合計30台設置しています。また、令和元年度に設置したカメラに通信機器の整備を行いました。</p> <p>・小学校3校、保育所、上牧幼稚園、片岡台幼稚園で交通安全教室を開催しました。</p> <p>・交通安全教室については、年に1度町内の幼稚園・保育所・小学校に出向いて、横断歩道や信号機の確認について、子どもたちへの体験活動を行いました。防犯パトロールについては、西大和6自治会と連携して片岡台・桜ヶ丘地区で防犯活動を行いました。</p> <p>・交通安全協会上牧町分会、PTAや各地区の見守り隊による立哨を実施しました。</p>																		
ニーズの方向性	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																		
	【防犯カメラ設置台数（累計）】																		
	<table border="1"> <caption>【防犯カメラ設置台数（累計）】</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>設置台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>				年度	設置台数	H27	3	H28	6	H29	9	H30	12	R1	24	R2	24	R3
年度	設置台数																		
H27	3																		
H28	6																		
H29	9																		
H30	12																		
R1	24																		
R2	24																		
R3	30																		
評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																
評価の根拠及び理由																			
地域及び住民一人ひとりの防犯意識を高め、悪質な詐欺等から身を守るべく安全で安心なまちづくりのため、町民・警察・行政等が一体となった取組を推進していく必要があります。																			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない															
	評価の根拠及び理由																		
	<p>地域における見守り活動・町からの防犯活動等に積極的に参加していただき、町民一人ひとりの防犯意識を向上させ、町民・警察・行政等が一体となった防犯体制の強化をしていく必要があります。</p> <p>今後は悪質な詐欺等の犯罪が身近に起こっても不思議ではないことだと認識してもらえるように周知していきます。</p>																		

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） <p>西和警察署と正確な情報・被害情報を共有し、速やかに住民の皆様へ情報を発信することにより、更なる地域の防犯力の向上を図る必要があります。</p> <p>犯罪や交通事故等の発生による防犯カメラの画像データの提供件数が年々増加しています。犯罪の抑止力の向上や早期解決を図るため、今後も防犯カメラによる防犯体制の強化を行う必要があります。</p> <p>令和4年度に6台設置する予定で最終設置台数は36台を予定しています。</p>			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	① 行政・安全安心—町民とともに築く安全で笑顔あふれるまちづくり—		
		基本施策	⑧ 安全安心・防犯		
施策の展開方向		④ 子どもを守るまちづくりの推進			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>防犯協議会に参加します。</p> <p>青パトによる防犯パトロールを実施します。</p> <p>悪質な詐欺を未然に防ぐため町民一人ひとりの意識を高め、防災行政無線での呼びかけや広報、町ホームページを通じて犯罪を未然に防ぎ、地域での安全で安心なまちを目指します。</p> <p>犯罪や交通事故等の発生による防犯カメラの画像データの提供件数が増加していますので、犯罪の抑止力の向上や早期解決を図るため、町内に防犯カメラ（6台）を設置します。</p> <p>また、町内小中学校における取組として、SPS（セーフティプロモーションスクール 学校独自の学校安全の考え方を基盤とする包括的な安全推進を目的として構築される取組）の認証取得に向け、令和4年度は一部の学校において、SPS推薦委員による指導助言等を受けるなど、学校安全の強化を目指しているところでありますので、今後、関係課や当該学校、また各関係団体と連携を図りながら子どもたちを守るまちづくりの推進に努めていきます。</p>				
	指標（予定）	KPI	防犯カメラ設置台数	36台	
		—			
		—			
		—			